

# 屏東縣スタディーツアー報告会



令和元年10月12～15日

世界遺産登録応援会 中部支部



## 屏東県のデータ

面積 2775.6 km<sup>2</sup>  
(台湾全土の7.7%)

人口 約82万人  
(台湾2350万人)

特産品 レンブ

蔡英文総統の出身地で新幹線も間もなく屏東市まで伸びて来ることもあり最近観光に力を入れている。

# 二峰しゅう（地下ダム） 訪問

令和元年10月13日

丁教授の案内で二峰しゅうで地下ダムの説明  
を受ける。





非常に気取らず、  
人の好きそうな  
丁教授

对照



### 二峰圳的工程結構與功能說明

地下堰體結構及配置  
 ★堰體結構、梯形堰體、拱形堰體、半圓形集水鵝潭、進水孔(人孔)等4部分。

★堰體結構  
 呈1.82m×1.82m直角三角形堰體，淨水溢外溝設由鋼條編成之障工，堰頂開設直徑0.42m之進水孔多處，總長328m(河床寬約180m)，由左岸至右岸以1/100坡度配置，距堰頂位於河床下2.7m~9.1m不等。



堰體  
 拱形堰體與梯形堰體相連，主要用來接納水流，把伏流水導入鵝潭，送往下游。

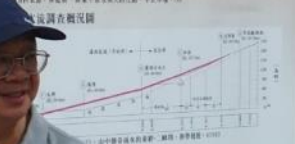
集水鵝潭(1927年建)  
 長455m，縱坡1/100，應係堰體工程完工不敷出水量不足，再補設之集水構造。



### 二峰圳的自然生態工法

綠洲水利工程的「水障或堰體」  
 二峰圳由草蓆存在成渠，再改築成堰體的河床，堰體以天然材料建造，堰頂設堰體障工，有細砂濾網，堰頂水壩的堰體多由鋼條編成，堰頂堰體以鋼條編成，堰頂堰體以鋼條編成，堰頂堰體以鋼條編成。

★無水障設計：堰水壩以天然材料，自行沉陷，堰頂堰體小，無水障設計，不用鋼條人填石，因此無堰體沉陷之虞。  
 ★堰體穩定：無活動之壩上水，因此無堰體沉陷之虞。  
 ★堰體結構：堰水壩設於地下，無人工壩，堰體堰體之天然材料，無活動力小，無水障設計，不用鋼條，堰體堰體之天然材料，無活動力小，無水障設計，不用鋼條，堰體堰體之天然材料，無活動力小，無水障設計，不用鋼條。



地下ダムの説明を受ける。





- 二峰しゅうの地下ダムは高さ2mの小型のものである。
- 木の枝が格子に編んでるのは、フィルターの役目。
- この木は水中だと50年以上腐らない。



水槽の中で断面  
を示したものの。



この事業を成し  
遂げた鳥居信平  
氏銅像の横に立  
つ孫の鳥居徹先  
生。





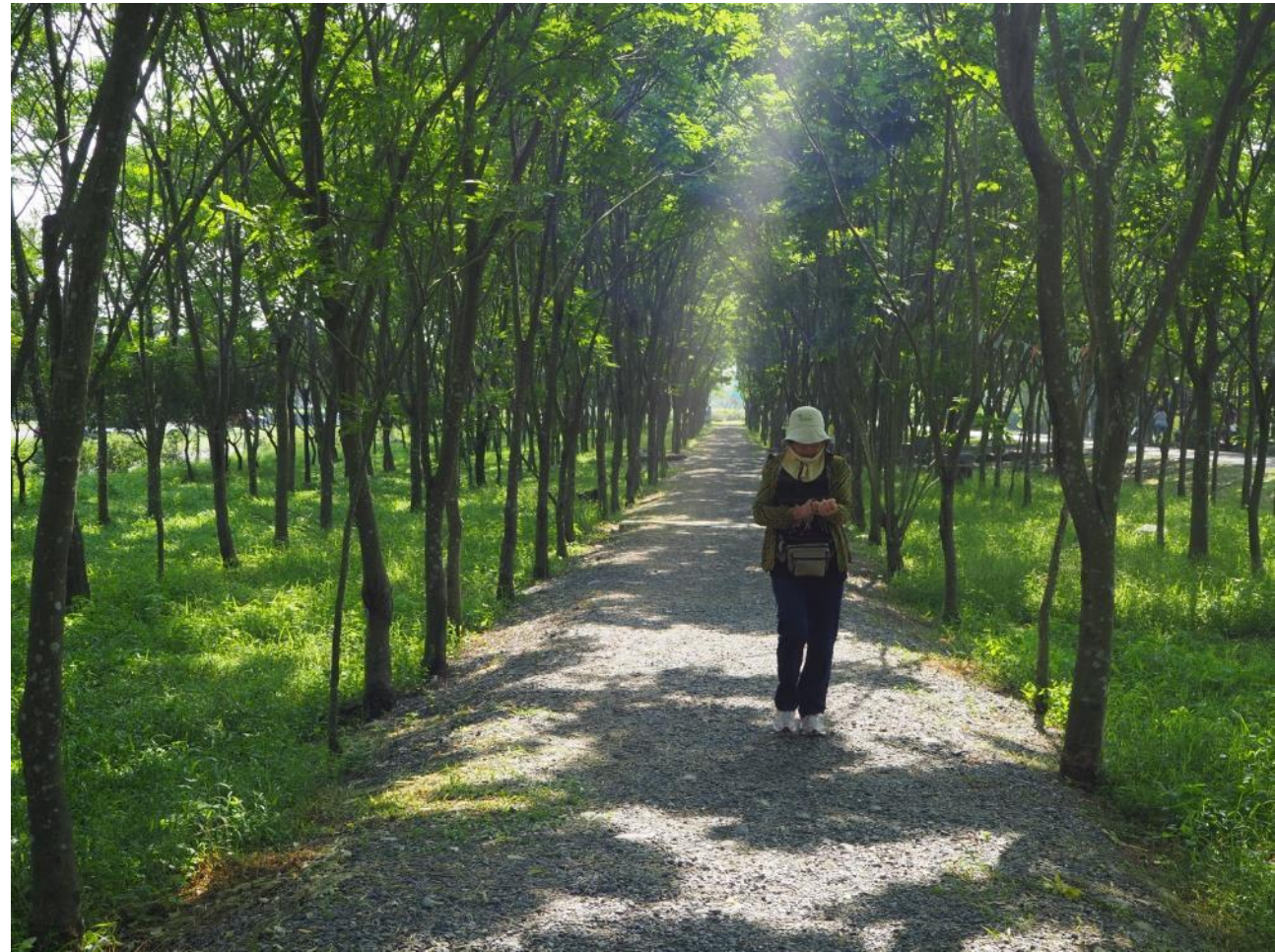
台湾人から見たら相当に貴重なスリーショット。  
(左から鳥居徹さん 丁教授 八田修一さん)





# 林後四林平地森林園區

屏東縣潮州鎮四春里潮義路221-1号



綠豊かでのどかな公園風景



# カ里溪（地下ダム）見学

《令和元年10月13日PM》

4WD4台に分乗し、パイワン族春日郷から  
カ里溪の地下ダムへ移動



地下ダム（高さ10m）はこの辺りで、埋まっているので、見ることはできない。

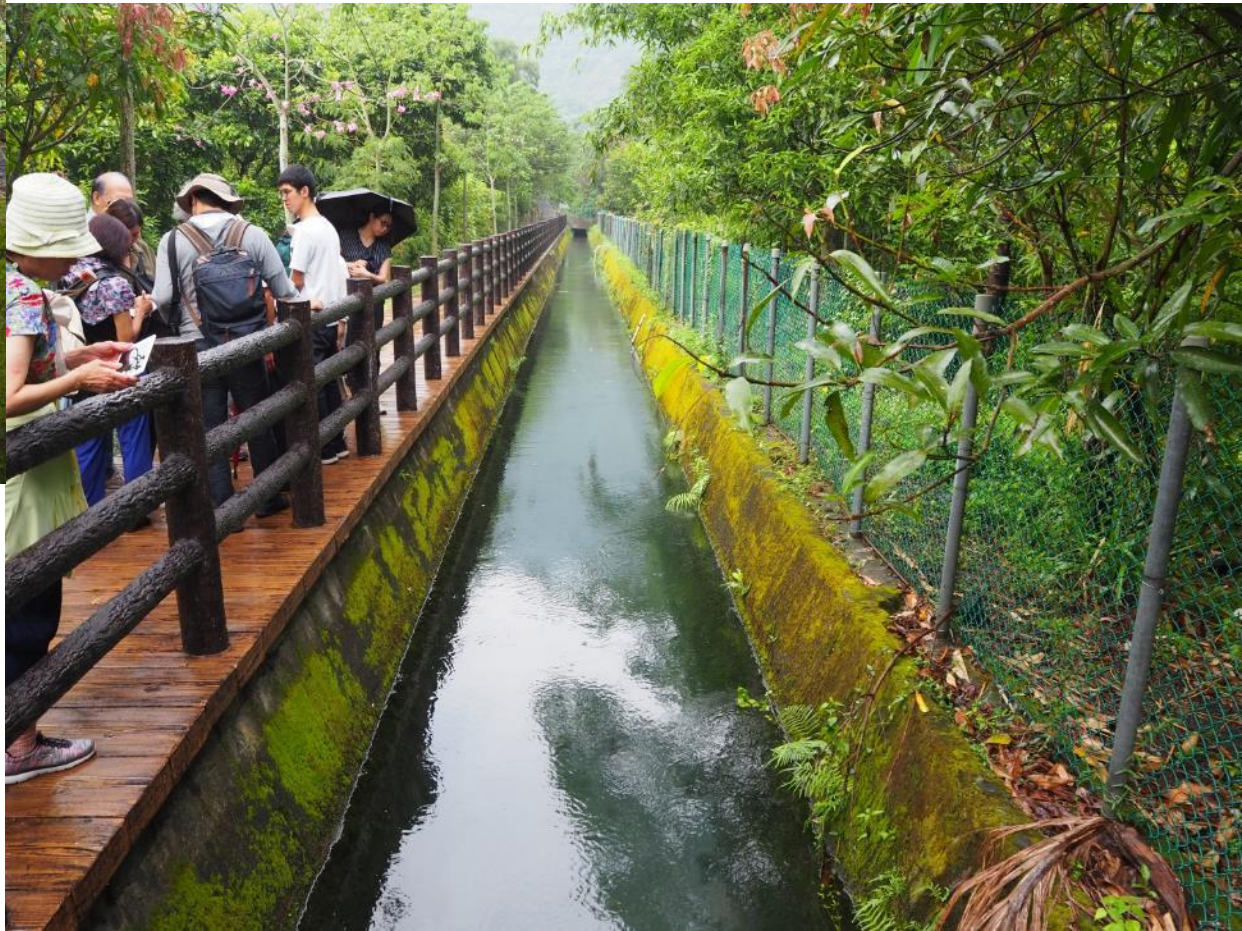
地下ダムで受けた水を進水塔へ流れ込むようになっている。

進水塔





進水塔から数百mトンネルで抜けた後、開水路になっている。全延長は4 kmに及ぶ。





この木何の木？ 気になる木？



この辺りに生息する毒蛇らしい。



# パイワン族 春日郷へ

カ里部落より4WD車4台に分乗し、  
パイワン族の郭先生よりガイド願う。





**4WD車に乗る前に郭先生の話  
を聞いているところ。  
春日郷などの集落は土砂崩れ等  
の危険があるので台湾政府は1972  
年に平地に移住させた。**





山道は未舗装で一台が通れるぐらいの道幅。

4WD車で川沿いを上流に向かって春日郷まで40分ほど。





ほぼ中間地点でこのきれいな吊橋が架かっている。



車を降りて景観を楽しみながら橋を徒歩で渡る。





春日郷入口に到着。郭先生のお祈りがあり、皆で入村。

春日郷の案内看板。地図の左側に郭先生の自宅があった。





## 石板屋家屋の中で頭目と貴族の家



## 春日郷（石板屋部落）入口の石碑



石板屋の中にベッドが備わっている



石板屋建物には客人は触らないように忠告があった。



ここでパイワン族の食事をいただく。



料理全般に薄味で、日本人は塩分とりすぎかも？





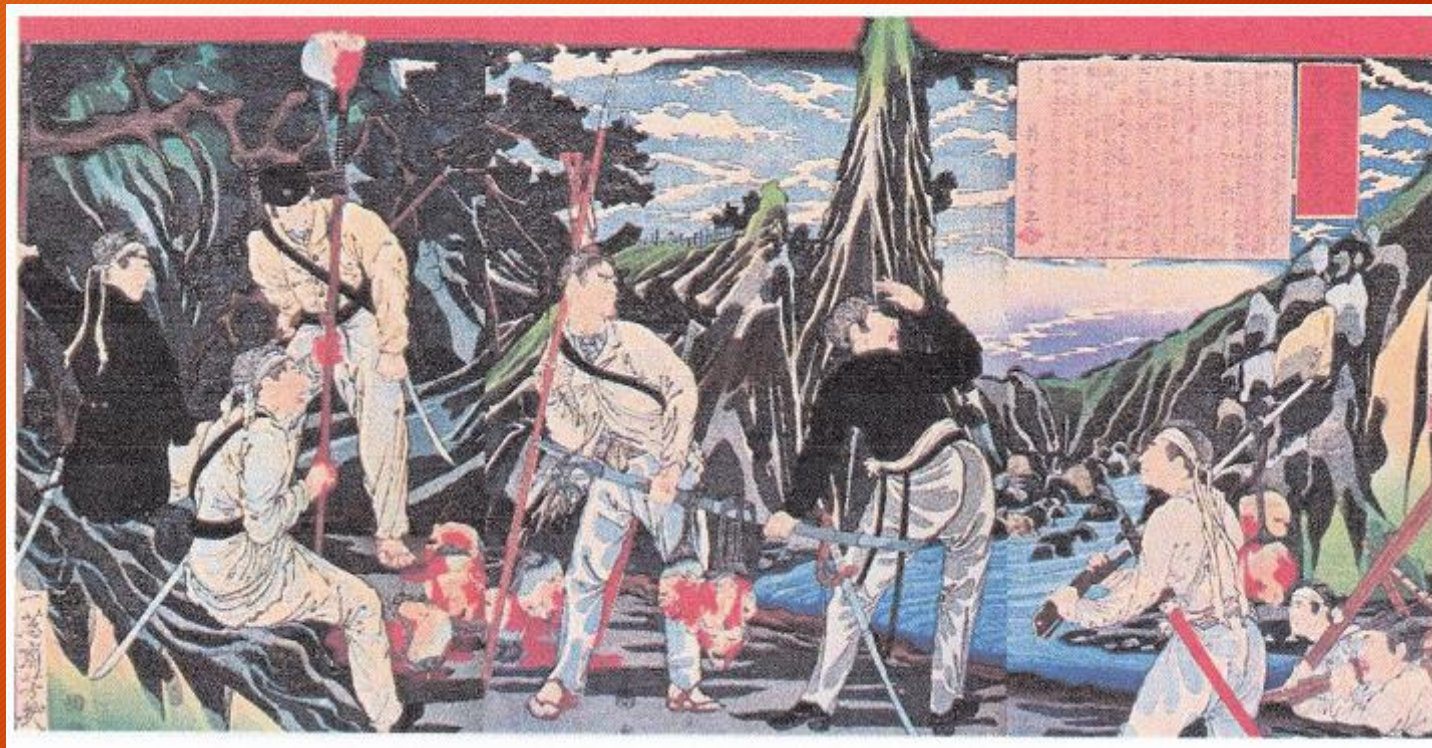
豚肉と豆類の煮物

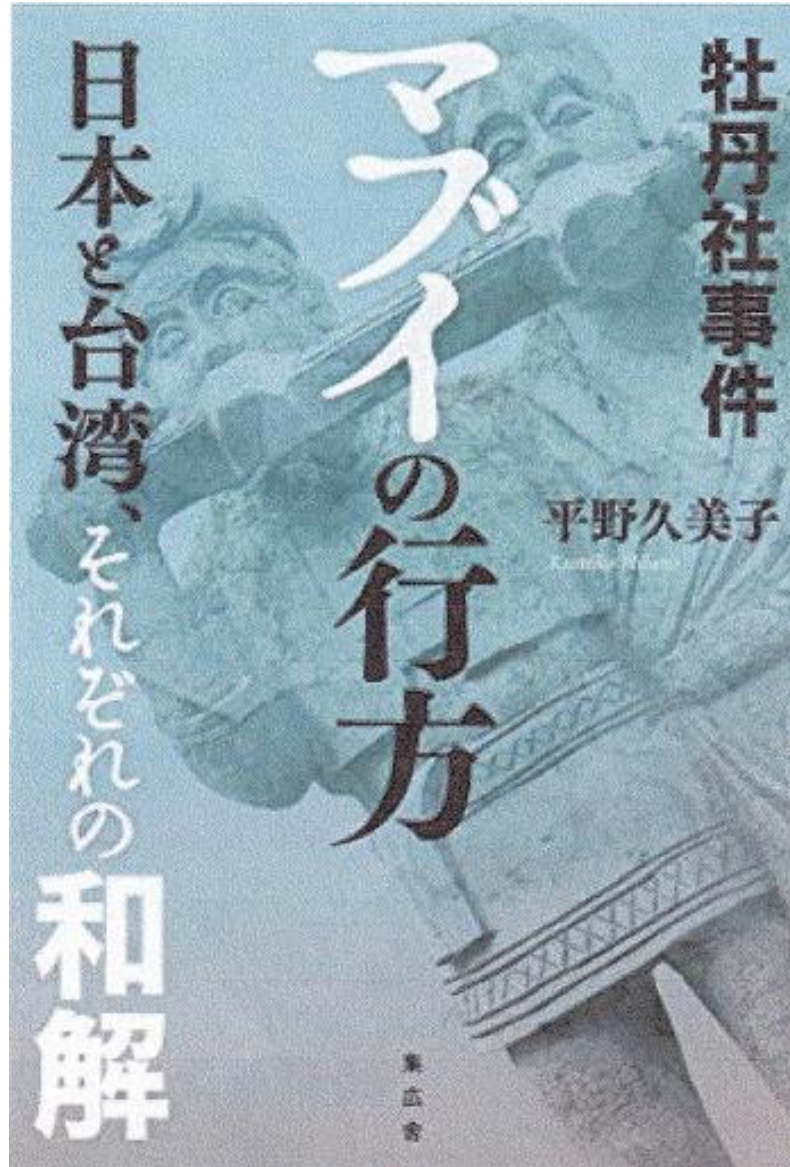


アワのちまき、川魚と川エビ、柿  
ちやと豆、サトイモとサツマイモ、ルーローハンぽ  
いもの



# 牡丹社事件の足跡





### 【牡丹社事件の概要】

明治4年に琉球人が乗る4隻の船のうち、悪天候のため1隻が台湾南東部に漂流して66人が上陸し、食料を求めて山中に入っていた。パイワン族に会い、最初は水食料をもらったが66人は、なぜか部落から逃げ出しパイワン族クスクス社の者達に追われ、逃げ込んだ先で54人が蕃刀で殺害され、牡丹社の者達に首を切られ木につるされた。生き残った12人は西海岸まで逃げる事ができ台南から九州を經由して琉球に戻った。

明治7年に明治政府は西郷従道を中心に台湾出兵を企て、3600名の兵を台湾西部より上陸し、亀山を基地として3方向に分かれてパイワン族の討伐を行った。結果、日本兵十数名、パイワン族三十数名の戦死者が出た。

2005年(平成17年)にパイワン族の末裔から琉球人の末裔に和解の申し入れがあり和解が成立した。



## 恒春半島の主なポイント

- ① 貢納船4隻のうち1隻が漂着した八瑤湾
- ② 牡丹郷内の川原で琉球人54名は殺害され首を切られ、首は木に吊るした。
- ③ 四重溪温泉の近くに54名の墓地がある
- ④ 台湾出兵した軍が基地とした亀山で殉職者の碑が博物館横にひっそりとある。
- ⑤ パイワン族と政府軍が戦った石門古戦場
- ⑥ パイワン族春日郷のある場所（もう少し北側）



牡丹鄉役場

この建物の裏に川岸があり琉球人54名がウクス社の者達に蕃刀で殺害され、牡丹社の者達が首を切り持ち帰った。





首を吊るした大きな木は、現在伐採されている。この民家の奥に切株だけが残っているという。



## 恒春半島の主なポイント

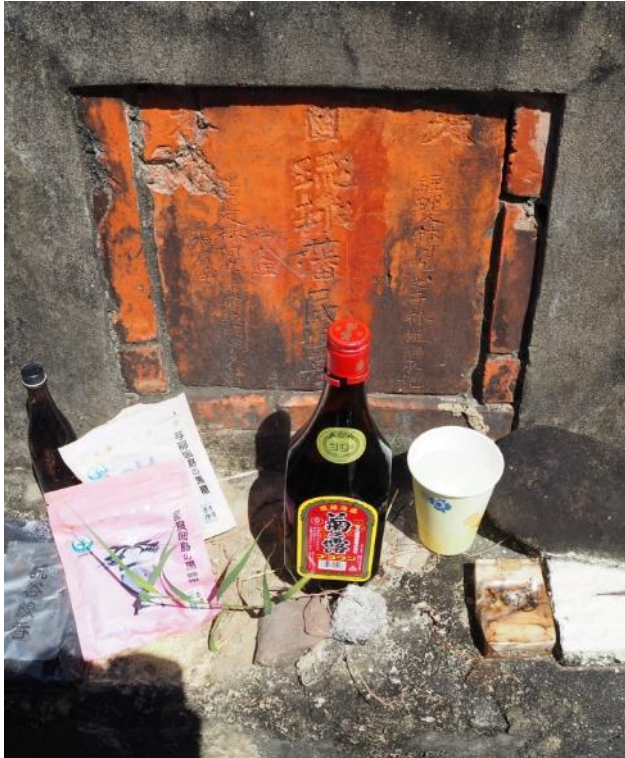
- ① 貢納船4隻のうち1隻が漂着した八瑤湾
- ② 牡丹社内の川原で54名は殺害され首を切られ、首は木につるされた。
- ③ 温泉地近くに琉球人54名の墓地がある。
- ④ 台湾出兵した軍が基地とした亀山で殉職者の碑が博物館横にひっそりとある。
- ⑤ パイワン族と日本軍が戦った石門古戦場
- ⑥ パイワン族春日郷のある場所（もう少し北側）



四重溪温泉の近くに琉球人  
54名のお墓がある。

---





亡くなった琉球人のために  
泡盛を供え、皆で献杯した。



## 恒春半島の主なポイント

- ① 貢納船4隻のうち1隻が漂着した八瑤湾
- ② 牡丹社内の川原で54名は殺害され首を切られ、首は木につるされた。
- ③ 温泉地近くに琉球人54名の墓地がある。
- ④ 台湾出兵した軍が基地とした「亀山」で  
記念碑が博物館横にひっそりとある。
- ⑤ パイワン族と日本軍が戦った石門古戦場
- ⑥ パイワン族春日郷のある場所（もう少し北側）



日本兵は亀山から3方向からパイワン族を包囲する形で、日本兵十数名、パイワン族34名が戦死した。



明治7年5月10日台湾出兵で瑯嶠灣から上陸し亀山を基地にした。外交顧問でローバー号事件に関係していたルジャンドルのバックアップが大きい。

《 写真 は 北 東 側 を 望 む ( 右 矢 印 参 照 ) 》

亀山山頂付近  
にある古い石  
段は誰が積み  
上げたかは  
はっきりして  
いない。



《日軍「討蕃軍本營地」記念碑》  
亀山麓にある国立海洋生物博物館の東側にある。





## 恒春半島の主なポイント

- ① 貢納船4隻のうち1隻が漂着した八瑤湾
- ② 牡丹社内の川原で54名は殺害され首を切られ、首は木につるされた。
- ③ 温泉地近くに琉球人54名の墓地がある。
- ④ 台湾出兵した軍が基地とした亀山で殉職者の碑が博物館横にひっそりとある。
- ⑤ パイワン族と日本軍が戦った場所  
「石門古戦場紀念公園」
- ⑥ パイワン族春日郷のある場所（もう少し北側）

# 牡丹社事件祈念公園



# 石門古戦場のゲート







パイワン族が弓矢を  
放つ像が立っている。



2005年にパイワン族と琉球人の末裔とで和解が結ばれ、その際に設けられた銅像。レプリカが宮古島市下地中学校にある。



右側の解説文に「琉球人は武器を持っていたので、正当防衛でパイワン族は琉球人を殺害した」ように書かれていたが、琉球人の訴え(2012年)でその文面は無くなった。



石門古戰場碑の文字は国民党政権になったと同時に書き替えられ、その後には文字をはがした状態になっている。

国民党政権の際に「祖国を取り返せ」と掛け替えられた

一百年的時間，紀念碑的文字已歷經三次轉變，卻始終沒有傳達出台灣原住民族主體性的聲音。無論時空如何轉變，唯一不變的，是原住民族守護家園的決心與奮勇禦敵的精神。



西鄉都督遺蹟紀念碑 (1936年)



澄清海宇還我河山 (1953年)



有碑無文 (2016年)

# その他の訪問先





# 基隆港と夜市 (令和元年10月11日)

国立交通大学管理学院



二·二八記念公園



三井物産(株)旧倉庫跡



国立台湾博物館





高雄市愛河の夜景  
(令和元年10月12日)





# 恒春での夜を堪能

(令和元年10月13日)

---

# 東龍宮

田中綱常を祀っている廟  
(令和元年10月14日)





東港の魚港市場風景  
(令和元年10月14日)



# 台鐵屏東駅

(令和元年10月14日)

# 屏東县政府表敬訪問 (令和元年10月15日)



# 統治時代の日本家屋保存地域



# 橋仔頭の製糖工場跡地 (令和元年10月15日)



おわり

